

# 安全データシート

作成:1999年 5月17日

改訂:2023年 3月31日

## 1. 製品及び会社情報

整理番号	:KI055-08
製品名	:スピノエース顆粒水和剤
会社名	:クミアイ化学工業株式会社
住所	:東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門	:サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	:03-3822-5180
FAX番号	:03-3823-6830
緊急連絡先	:平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限	:農薬

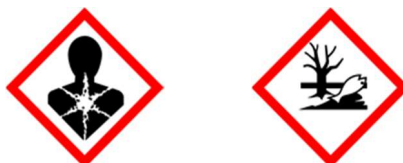
## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類		
健康に対する有害性	発がん性	:区分1A
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)(吸入)	:区分1(肺)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	:区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	:区分2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

## GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語:危険

## 危険有害性情報

- ・発がんのおそれ
- ・長期にわたる、又は反復ばく露(吸入)による臓器(肺)の障害

- ・水生生物に毒性
- ・長期継続的影響によって水生生物に毒性

#### 注意書き

##### 【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・環境への放出を避けること。

##### 【応急処置】

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ・漏出物を回収すること。

##### 【保管】

- ・施錠して保管すること。

##### 【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別:混合物

化学名/一般名:スピノシンA(CAS# 131929-60-7)とスピノシンD(CAS# 131929-63-0)の混合物/一般名:スピノサド

成分及び含有量:	スピノサド	25%
<その他>	結晶質シリカ(石英)	>=40<50%
	ラウリル硫酸ナトリウム(別名ドデシル硫酸ナトリウム)	2.5%
	ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物	>=2.5<3%
	Spinosyn B	>=0.25<0.3%

官報公示整理番号:化審法・安衛法

8-(4)-1959	スピノサド
1-548	結晶質シリカ(石英)

2-1679 ラウリル硫酸ナトリウム(別名ドデシル硫酸ナトリウム)

CAS No.: 168316-95-8 / スピノサド  
 14808-60-7 / 結晶質シリカ(石英)  
 151-21-3 / ラウリル硫酸ナトリウム(別名ドデシル硫酸ナトリウム)  
 9084-06-4 / ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物  
 131929-61-8 / Spinosyn B

#### 4. 応急措置

吸入した場合: 新鮮な空気のある場所へ移動させる。呼吸停止の際は救急隊または救急車を呼び、人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具(ポケットマスクなど)を使用する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。

皮膚に付着した場合: 汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で 15~20 分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。  
 作業場内に適切な緊急用安全シャワー設備を設置すること。

眼に入った場合: 目を開いたまま 15~20 分水でゆっくりと優しく洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、5 分洗眼してからはずし、さらに洗眼を続ける。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。  
 作業場内に適切な緊急用洗眼設備を設置すること。

飲み込んだ場合: 緊急医療措置は必要ない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状: 知見なし。

応急措置をする者の保護: 応急措置担当者は自分の安全確保に注意を払い、推奨されている防護服(耐薬品手袋、飛沫防護)を使用する。

ばく露する可能性がある場合は、第 8 項の保護具の情報を参照。

医師に対する特別な注意事項: 喘息の様な(反応性気道)症状を起こすことがある。気管支拡張薬、去痰薬、鎮咳薬およびコルチコステロイドが有効なことがある。

特別な解毒剤はない。

ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨時的処置を行う。

中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、この安全データシートのほか、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。

皮膚接触により既存の皮膚炎が悪化することがある。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤: 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素(CO2)、粉末消火剤

使ってはならない消火剤: 知見なし。

特有の危険有害性: 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。

泡を使用するとかなりの量の水素ガスが放出されるが、泡で覆い閉じ込めることができる。

有害燃焼副産物: 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:

窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)

炭素酸化物

特有の消火方法: 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

消火剤を容器の内容物に接触させない。ほとんどの消火剤は水素の発生を引き起こし、消火すると、換気の悪い場所や密閉された場所に蓄積し、発火した場合、フラッシュ火災や爆発を引き起こす可能性がある。

安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。区域から退避させること。

未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。

汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。

火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。

消火を行う者の保護: 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。保護具を使用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 粉じんの発生を避ける。

適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

環境に対する注意事項: 環境への放出は必ず避けなければならない。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。汚染された洗浄水を保管し、処分する。

流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。

粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。

回収物質は、ベント付き容器に保管すること。漏洩物質 が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。

掃いてシャベルですくいとる。

廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

酸で中和する。

こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。

追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

安全取扱注意事項: 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。

漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。

適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

接触回避: 強酸、強塩基類。

#### 保管

安全な保管条件: 密閉容器に保管すること。

適切なラベルのついた容器に入れておく。各国の規定に従って保管する。

混触禁止物質: 強酸化剤

安全な容器包装材料: 適さない材質: 知見なし。

### 8. ばく露防止措置

#### 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

結晶質シリカ(石英)(吸入性粉じん) 0.03 mg/ m<sup>3</sup>(OEL-C) 日本産業衛生学会

詳細情報: 発がん物質、「第 1 群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。

結晶質シリカ(石英)(呼吸濃度) 0.025 mg/ m<sup>3</sup>(TWA) ACGIH

スピノサド 0.3 mg/ m<sup>3</sup>(TWA) Dow IHG

Spinosyn A 0.3 mg/ m<sup>3</sup>(TWA) Dow IHG

設備対策: 空气中濃度が許容濃度以下に保てるよう制御する。

許容濃度が設定されていない場合、適切な全体換気を行う。

一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

#### 保護具

呼吸用保護具: 許容濃度を超える可能性がある場合は、呼吸器用保護具を着用する。

許容濃度が未設定の場合、認可された呼吸器用保護具を使用する。

特定の作業や物質の空气中濃度の可能性に応じて、空気清浄呼吸器又は陽圧送気マスクを選定する。

緊急時には、認可された陽圧自給式呼吸器を使用する。

手の保護具: 備考: この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例: ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたは NBR)。ポリ塩化ビニル(PVC またはビニル)。  
注意: 特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある: 取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件(切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護)、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

眼の保護具:ケミカルゴーグルを使用する。

皮膚及び身体の保護具:この物質に耐薬品性のある保護衣を着用する。作業内容に応じて、顔面シールド、長靴、エプロンまたは全身防護服などの保護具を選択する。

## 9. 物理・化学的性質

外観等	: 淡褐色水和性細粒
臭い	: 無臭
臭いのしきい(閾)値	: データなし
pH	: 10.0
融点・凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 固体には該当しない
引火点	: 適用なし。
自然発火点	: データなし
可燃性(固体、気体)	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限界/可燃限界	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし
かさ密度	: 0.75 g/ml
爆発特性	: データなし
酸化特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	: 知見なし。
混触危険物質	: 強酸、強塩基類。

危険有害な分解生成物 : 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。  
分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:  
窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)  
炭素酸化物

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 製品:

急性毒性(経口): LD<sub>50</sub> (ラット) > 5,000 mg/kg

急性毒性(経皮): LD<sub>50</sub> (ラット) > 2,000 mg/kg

症状: この濃度では死に至らない。

この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

#### 成分:

##### スピノサド

急性毒性(経口): LD<sub>50</sub> (ラット♀) > 5,000 mg/kg

LD<sub>50</sub> (ラット♂) 4,444 mg/kg

急性毒性(吸入): LC<sub>50</sub> (ラット) > 5.18 mg/l (4時間) 粉じん/ミスト

この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性(経皮): LD<sub>50</sub> (ウサギ) > 5,000 mg/kg

##### ラウリル硫酸ナトリウム:

急性毒性(経口): LD<sub>50</sub> (ラット) 1,200 mg/kg

急性毒性(吸入): 備考: 粉塵への単回ばく露による有害作用はないと考えられる。

粉塵は上部呼吸器官(鼻や喉)を刺激するかもしれない。

LC<sub>50</sub> (ラット) > 0.975 mg/l (4時間) 粉じん/ミスト

症状: この濃度では死に至らない。

この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性(経皮): LD<sub>50</sub> (ウサギ) > 10,000 mg/kg

ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物:

急性毒性(経口): LD<sub>50</sub> (ラット) 3,800 mg/kg

急性毒性(経皮): LD<sub>50</sub> (ウサギ) > 2,000 mg/kg

症状: この濃度では死に至らない。

この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

皮膚腐食性/刺激性

成分:

スピノサド

ウサギ: 皮膚刺激なし

結晶質シリカ(石英):

皮膚刺激なし

ラウリル硫酸ナトリウム:

皮膚刺激性

ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物:

ウサギ: 皮膚刺激なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品:

眼への刺激なし

成分:

スピノサド:

ウサギ: 眼への刺激なし

結晶質シリカ(石英):

眼への刺激なし

ラウリル硫酸ナトリウム:

腐食性



ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物:

ウサギ:眼への刺激なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

成分:

スピノサド:

モルモット:皮膚感作性なし。

ラウリル硫酸ナトリウム:

皮膚感作性なし。

備考:皮膚感作性:類似物質について、モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

備考:呼吸器感作性:データなし。

ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物:

モルモット:皮膚感作性なし。

備考:類似物質について

生殖細胞変異原性

成分:

スピノサド:

*In vitro* での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

結晶質シリカ(石英):

*In vitro* 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。

ラウリル硫酸ナトリウム:

*In vitro* での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物:

*In vitro* での遺伝毒性試験は陰性であった。

発がん性

成分:

スピノサド:

動物試験では発がん性はなかった。

結晶質シリカ(石英):

人間の発癌性物質。ヒトで発がん性を示した。実験動物で発がん性が認められた。

ラウリル硫酸ナトリウム:

動物試験では発がん性はなかった。

生殖毒性

成分:

スピノサド:

動物試験では、親動物に対して重大な毒性を示した用量においてのみ、生殖に対する有害影響が認められた。母体に毒性影響を起こした摂取量でも、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

結晶質シリカ(石英):

類似物質について、動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

ラウリル硫酸ナトリウム:

実験動物において、母体毒性を示す用量で胎児毒性が認められた。動物試験で、催奇形性はなかった。

ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物:

動物試験では、生殖を阻害しなかった。

動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

製品:

使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性(単回ばく露)を示さない。

成分:

スピノサド:

使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性(単回ばく露)を示さない。

結晶質シリカ(石英):

使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性(単回ばく露)を示さない。

ラウリル硫酸ナトリウム:

暴露の主経路:吸入

標的臓器: 気道

呼吸器への刺激のおそれ。

ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物:

使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性(単回ばく露)を示さない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

成分:

結晶質シリカ(石英):

暴露の主経路: 吸入

標的臓器: 肺

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

反復投与毒性

成分:

スピノサド:

備考: 動物では、スピノサドにより、多様な組織で細胞の空胞化が生じることを示した。

これらの影響が生じる摂取量は、使用中の暴露による想定される摂取量の何倍も高い摂取量である。

結晶質シリカ(石英):

備考: ヒトでは、以下の臓器に影響することが報告されている: 腎臓。

結晶シリカに反復過剰暴露すると珪肺症や、肺の病気を進行させたり肺が機能しなくなる疾患を起こすことがある。

ラウリル硫酸ナトリウム:

備考: 腹部不快感または下痢をおこすことがある。

ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物:

備考: 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

誤えん有害性

製品:

物性上、誤えん有害性は低い。

成分:

スピノサド:

入手可能な情報によると、誤えん有害性は確定されていない。

結晶質シリカ(石英):

物性上、誤えん有害性は低い。

ラウリル硫酸ナトリウム:

物性上、誤えん有害性は低い。

ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物:

物性上、誤えん有害性は低い。

## 12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性: LC<sub>50</sub> (ブルーギル) 5.9 mg/l (96時間)

備考: 有効成分について

LC<sub>50</sub> (コイ) 410 mg/l (96時間) 止水式試験

備考: 製品として

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性: 備考: 物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種では LC<sub>50</sub>/EC<sub>50</sub> 1~10 mg/L)。

EC<sub>50</sub> (オオミジンコ) 7.7 mg/l (48時間) 固定化

備考: 製品として

EC<sub>50</sub> (イースタン オイスター) 0.295 mg/l

備考: 有効成分について

EC<sub>50</sub> (オオミジンコ) 1.5 mg/l (48時間)

方法: OECD テストガイドライン 202 あるいは同等のもの

備考: 有効成分について

藻類/水生生物に対する毒性: EbC<sub>50</sub> (珪藻) 0.107 mg/l (5d)

エンドポイント: バイオマス

備考:有効成分について

EbC<sub>50</sub> (緑藻) 39 mg/l (7d)

備考:有効成分について

EC<sub>50</sub> (イボウキクサ) 10.6 mg/l (14d)

備考:有効成分について

備考:成分の情報による:物質は、水生生物に対して高い急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種で LC<sub>50</sub>/EC<sub>50</sub>/EL<sub>50</sub>/LL<sub>50</sub> 0.1~1 mg/L)。

ErC<sub>50</sub> (緑藻) 124 mg/l (72時間) 成長抑制

備考:製品として

最大無影響濃度(緑藻) 0.994 mg/l (72時間) 成長抑制

備考:製品として

成分:

スピノサド:

魚毒性:LC<sub>50</sub> (コイ) 4 g/l (96時間)

方法:OECD テストガイドライン 203 あるいは同等のもの

LC<sub>50</sub> (ニジマス) 27 mg/l (96時間)

LC<sub>50</sub> (ブルーギル) 5.9 mg/l (96時間)

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性:EC<sub>50</sub> (オオミジンコ) 1.5 mg/l (48時間)

方法:OECD テストガイドライン 202 あるいは同等のもの

EC<sub>50</sub> (イースタン オイスター) 0.295 mg/l

EC<sub>50</sub> (キロノムス sp.) 0.014 mg/l (48時間)

藻類/水生生物に対する毒性:EbC<sub>50</sub> (珪藻) 0.107 mg/l (5d)

エンドポイント:バイオマス

EbC<sub>50</sub> (緑藻) 39 mg/l (7d)

EC<sub>50</sub> (イボウキクサ) 10.6 mg/l (14d)

EC<sub>50</sub> (青緑藻) 6.1 mg/l (120時間)

微生物に対する毒性:(バクテリア): > 100 mg/l

土中生物に対する毒性:LC<sub>50</sub> (ミミズ) > 970 mg/kg (14d)

地上生物に対する毒性:混餌 LC<sub>50</sub> (マガモ) > 5,156 mg/kg 餌 (5d)

経口 LC<sub>50</sub> (コリンウズラ) > 2,000 mg/kg 体重

混餌 LC<sub>50</sub> (コリンウズラ) > 5,253 mg/kg 餌 (5d)

経口 LD<sub>50</sub> (ミツバチ) 0.06 µg/蜂 (48時間)

接触 LD<sub>50</sub> (ミツバチ) 0.05 µg/蜂 (48時間)

#### 環境毒性アセスメント

水性環境有害性 短期 (急性):水生生物に非常に強い毒性。

結晶質シリカ(石英):

魚毒性:備考:類似物質の情報による:物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種で LC<sub>50</sub>/EC<sub>50</sub>/EL<sub>50</sub>/LL<sub>50</sub> > 100 mg/L)。

LC<sub>50</sub> (ゼブラフィッシュ) 580 mg/l (96時間)

備考:類似物質の情報による

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性:EC<sub>50</sub> (オオミジンコ) 731 mg/l (48時間)

備考:類似物質について

ラウリル硫酸ナトリウム:

魚毒性:LC<sub>50</sub> (ニジマス) 4.6 mg/l (96時間)

方法:方法不特定

LC<sub>50</sub> (ファットヘッドミノー) 29 mg/l (96時間)

方法: OECD テストガイドライン 203 あるいは同等のもの

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性: EC<sub>50</sub> (オオミジンコ) 6.2 - 49.4 mg/l (48時間)

方法: 方法不特定

LC<sub>50</sub> (塩水アミ) 6.1 - 18.3 mg/l (96時間)

藻類/水生生物に対する毒性: EC<sub>50</sub> (緑藻) 117 mg/l (96時間)

エンドポイント: バイオマス

微生物に対する毒性: EC<sub>50</sub> (活性汚泥) 130 - 170 mg/l (30分)

方法: OECD209 試験

ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物:

魚毒性: LC<sub>50</sub> (ファットヘッドミノー) 100 mg/l (96時間) 止水式試験

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性: EC<sub>50</sub> (オオミジンコ) 71 mg/l (48時間) 止水式試験

残留性・分解性

成分:

スピノサド:

生分解性: 結果: 易分解性ではない。

生分解: < 1% 曝露時間: 28d

方法: OECD テストガイドライン 301B あるいは同等のもの

備考: 10-day Window: 不合格

生化学的酸素要求量(BOD):

66.000% インキュベーション時間: 5d

方法: ダウテキスト

68.000% インキュベーション時間: 10d

方法: ダウテキスト

76.000 % インキュベーション時間:20d

方法:ダウテキスト

77.000 % インキュベーション時間:28d

方法:ダウテキスト

水中での安定性:

試験タイプ:加水分解

方法:安定

試験タイプ:加水分解

分解半減期 (半減期):200 – 259 d(25 °C) pH: 9

試験タイプ:加水分解

方法:安定

試験タイプ:光分解

分解半減期 (半減期):0.84 – 0.96 dpH: 7

結晶質シリカ(石英):

生分解性:備考:生分解は適用不可。

ラウリル硫酸ナトリウム:

生分解性:備考:物質は易分解性である。OECD 易分解性試験に合格している。

好気性

含有量: 100 mg/l

結果:易分解性。

生分解: 85 % 曝露時間: 14d

方法:OECD テストガイドライン 301C あるいは同等のもの

備考:10-day Window: 非該当

結果:易分解性。

生分解: 95 % 曝露時間: 28d

方法:OECD テストガイドライン 301B あるいは同等のもの

備考:10-day Window: 合格



生化学的酸素要求量(BOD):57 - 97 % インキュベーション時間: 5 d

化学的酸素要求量(COD):0.68 mg/g

ThOD:2.00 kg/kg

ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物:

生分解性:結果:分解性なし

備考:この物質は OECD/EC ガイドラインで易生分解性ではなかった。

生体蓄積性

成分:

スピノサド:

生体蓄積性:種:魚類

生物濃縮因子(BCF):33 曝露時間:28d

方法:測定値

結晶質シリカ(石英):

n-オクタノール/水分配係数(log 値):備考:n-オクタノール/水分配係数は適用不可。

ラウリル硫酸ナトリウム:

生体蓄積性:生物濃縮因子(BCF):70

方法:推定値。

n-オクタノール/水分配係数(log 値):備考:生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 または Log Pow < 3)

log Pow: 1.60

方法:測定値

土壌中の移動性

成分:

スピノサド:

環境中の分布:Koc: 701

方法:測定値

備考: 土壌中移動性が小さい(Koc 500~2,000)。

土中での安定性: 消失時間: 8.68 - 9.44 d

方法: 光分解

結晶質シリカ(石英):

環境中の分布: 備考: 関連のあるデータは得られていない。

ラウリル硫酸ナトリウム:

環境中の分布: 備考: 土壌中移動性は比較的小さいと考えられる。(Koc > 5,000)

ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。

Koc: > 5,000

方法: 推定値。

オゾン層への有害性

成分:

スピノサド:

オゾン層破壊係数: 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

結晶質シリカ(石英):

オゾン層破壊係数: 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

ラウリル硫酸ナトリウム:

オゾン層破壊係数: 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物:

オゾン層破壊係数: 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響

成分:

スピノサド:

PBT および vPvB の評価結果:この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

結晶質シリカ(石英):

PBT および vPvB の評価結果:この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

ラウリル硫酸ナトリウム:

PBT および vPvB の評価結果:この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

ナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物:

PBT および vPvB の評価結果:この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

その他:ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めること。

### 13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

### 14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 :クラス9(有害性物質)容器等級Ⅲ

国連番号 :3077(環境有害物質、固体)

国内規制

海上規制情報 :船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 :航空法の規定に従う。

陸上規制情報 :道路法の規定に従う。

### 15. 適用法令

農薬取締法 :登録番号 第20180号

消防法	: 非該当
労働安全衛生法	: 第18条の2(表示・通知対象物質): 結晶質シリカ(石英)(政令番号165-2)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 第一種指定化学物質 275号 ドデシル硫酸ナトリウム (2023年4月1日以降) 第一種指定化学物質 672号 スピノサド
毒物劇物取締法	: 非該当

#### 16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。  
使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法  
2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針  
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会  
3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会  
4) GHS文書 改訂第6版(2015年)  
5) コルテバ・ジャパン(株) スピノエース顆粒水和剤 安全データシート  
(2023年3月20日改訂版)

#### 作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499  
医療機関専用有料電話 072-726-9923  
つくば(毎日9時~21時) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999  
医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。